

〈解答〉

- 1 A イ 2 C エ 3 D オ 4 A ア 5 A ウ 6 B イ
 7 E カ 8 A イ 9 C カ 10 C ア 11 A ア
- ① 1 連用形 2 連体形 3 假定形 4 未然形 5 終止形
- ② 1 連用形 2 未然形 3 假定形 4 終止形 5 連体形
- ③ 1 連用形 2 未然形 3 假定形 4 終止形 5 連体形
- ④ 1 形容詞・連体形 2 形容動詞・連体形 3 形容動詞・連用形
 4 形容詞・連用形 5 動詞・連体形 6 形容詞・連体形
 7 動詞・連用形

配点 各1点 28点満点

〈解説〉

① 動詞の活用の種類は、言い切りの形Ⅱ終止形で考える。そして「来る」がカ行変格活用、「() する」がサ行変格活用と覚えておく。それ以外は、「ない」を接続させた形Ⅱ未然形が、ア段となれば五段活用、イ段となれば上一段活用、エ段となれば下一段活用となる。8の終止形は「決まる」で自動詞、9の終止形は「決める」で他動詞である。10の終止形は「行ける」で可能動詞、11の終止形は「行く」で自動詞である。

② 活用形はそれぞれに接続する、おもなことを覚えておくとよい。ただし、終止形と連体形は活用語尾がまったく同じなので注意する。形容動詞は終止形(例 静かだ)と連体形(例 静かな)が違うので、それぞれを当てはめて判別するとよい(5)。

③ 形容詞と形容動詞は活用の種類が一つなので、活用語尾を覚えておくとよい。形容詞は「かろ／かつ・く・う／い／い／けれ」、形容動詞は「だろ／だっ・で・に／だ／な／なら」である。いずれも命令形はない。

④ 用言の識別は、終止形が「ウ段」で終われば動詞、「い」ならば形容詞、「だ」ならば形容動詞となる。ただし、意味が似ていても品詞名は違うことがあるので注意する。1の終止形は「柔らかい」、2の終止形は「柔らかだ」であり、3の終止形は「暖かだ」、4の終止形は「暖かい」である。

文法 (3)

① 用言の活用

1 活用形 形容詞・形容動詞には命令形はない

- ① 未然形 ② 連用形 ③ 終止形 ④ 連体形 ⑤ 仮定形 ⑥ 命令形

2 動詞の活用

活用の種類	動詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
五段活用	読む	よ	もま	んみ	む	む	め	め
上一段活用	起きる	お	き	き	きる	きる	きれ	きろ
下一段活用	答える	こた	え	え	える	える	えれ	えろ
カ行変格活用	来る	○	こ	き	くる	くる	くれ	こい
サ行変格活用	する	○	せ	し	する	する	すれ	しろ
接続することば			ナイ ヨウ	マス タテ	カラ	トキ ノデ	バ	。
			さ	し	する	する	すれ	せよ

※サ行以外の五段活用の動詞の連用形には音便がある。
 イ音便：咲き⁺た↓咲い⁺た 撥音便：飛び⁺た↓飛ん⁺た
 促音便：行き⁺た↓行っ⁺た

3 形容詞の活用

形容詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
早い	はや	かろ	かつ	い	い	けれ	○
			うく				

4 形容動詞の活用

形容動詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
静かだ	しずか	だろ	だっ	だ	な	なら	○
			に				